

松本障害保健福祉圏域自立支援協議会 部会・プロジェクト議事録

|   |   |
|---|---|
| <p>部会・プロジェクト名<br/>こども部会</p>   | <p>開催日：令和3年8月4日(水)<br/>時間：13時30分～15時<br/>場所：松本市梓川支所中会議室 / zoom 会議</p> |
| <p>参加者構成機関名 松本市、塩尻市、安曇野市(欠)、生坂村、松本養護学校、安曇養護学校、寿台養護学校、基幹相談支援センター(欠)、松本圏域障がい者総合相談支援センター (Wish、あるふ、ボイス(欠))、松本児童相談所、長野県障がい者支援課、長野県立こども病院(欠)、まつもと医療センター、松本協立病院(欠)、訪問看護ステーションあけみ野、信濃学園、しいのみ学園、穂高わたぼうし(欠)、やまびこ学園、療育センターらいふ、結いの街(欠)、中信社会福祉協会(欠)、まがりっと、松本保健福祉事務所(健康づくり支援課(欠)、福祉課)、松本圏域自立支援協議会事務局</p> |   |
| <p>次第 報告事項 1.幹事会報告 2.長野県療育部会報告 3.その他<br/>協議事項 1.緊急時プランの作成、普及について 2.信濃学園より～現状と課題について～ 3.その他</p>  |   |

|   |
|---|
| <p><b>会議内容</b></p> <p><b>報告事項</b></p> <p>1.R3.5.28 幹事会開催。部会長から概要を報告。こども部会からは、緊急時に関する検討について報告を行った。</p> <p>2.県療育部会について、療育コーディネーターから報告。各圏域での活動情報を共有した。</p> <p>3.来年度の圏域の相談体制や自立支援協議会の体制について検討中。</p> <p><b>協議事項</b></p> <p>1.緊急時プランの作成、普及を行い、緊急時プラン作成に報酬が出る仕組みに繋がると良い。また、プランの有効性が広まることで、当事者プランの作成に繋がっていくという方向性も一つではないか。ケアマネジメント連絡会での紹介等、部会員それぞれの立場でできる普及活動等に取り組み、次回の部会で確認、共有することとした。</p> <p>2.県内唯一の福祉型障害児入所施設。課題として、施設の老朽化、成人施設等への移行の促進(20歳までのみなし規定終了に伴い、地域生活への移行検討も要)、入所待機児童の増加、緊急・長期間の一時保護・短期入所の受入、在宅障がい児への相談・支援等が挙げられる。</p> <p>みなし規定終了に伴い、18歳以上入所者(いわゆる加齢児)への対応が困難となる。移行先が見つからなかった場合の処遇が一番の課題。成人施設へ移行するにしても、地域生活へ移行するにしても、一施設ができることには限界がある。圏域全体で「移行」の仕組みや体制づくりを考える必要がある。</p> <p>3.訪問看護ステーションあけみ野から学校看護師と訪問看護師連携についての資料案内があった。</p> <p>次回 開催日時：令和3年11月17日(水) 13時30分～ 松本市梓川公民館</p> |
|---|